

 今回は昨年11月に、山部博喜氏（熊本県青年司法書士会 会長）を招いて開催しました進路講演会での皆さんの感想をまとめました。皆さん、いろいろな思いを持って聴いていたようでした。

- ・今は関係ないと思っけていても、大人になった時に絶対知っておいた方がいい知識だと感じたので、私も自分の身を守るための法律の知識は身につけておきたいなあと思いました。（1年生）
- ・とても大事なお金の話でした。定時制では給料をもらって生活している生徒が半数います。この講演が元となり、つまづかない人生を送ってほしいと思います。（1年生）
- ・クーリング オフについても知ってはいたのですが、事例や対策を交えて教えていただいてさらに理解を深めることができました。クレジットカードや借金の関係に関してもわかりやすく教えて頂き、将来のための勉強になりました。（1年生）
- ・消費者被害の事例では、若い人が被害にあったり、マルチ商法やSNSでの被害などは自分に起こりうることだと思い、自分にも関係のあることだと思いました。（3年生）
- ・私も1回だけクーリング オフをしたことがあります。最初は払っていけると思っていたのですが、親に止められました。クーリング オフについては授業で習っていたので、自分でできたのでよかったし親に止められて頭が冷めました。私は来年の4月から社会人になるので、一人の大人としてきちんとした対処法を身につけて暮らしていけそうです。（4年生）
- ・司法書士の職業の名前はよく聞くだけで、仕事内容に関してはよく知らなかったけど、今日の講演会で詳しく話してくださり、よく理解できたと思うし、とても勉強になった。その他にも、マルチ商法、スマホの名義貸し、クレジットの仕組み、リボ払いなど名前だけではなく、内容をしっかり理解することが一番大事なんだなと感じた。（4年生）
- ・名義貸しについては絶対にしてはいけないものだと知っていましたが、貸した方が詐欺罪の加害者になってしまうことをすっかり忘れていました。昔、私も貸してくれと言われたことがあったので、貸さなくてよかったと改めて思いました。（4年生）
- ・貯金が大事だという話もとても勉強になりました。収入に対して支出が多くなるので、貯金する分を先に確保したり、何に使っているか書き出してお金の管理をしてみよう思いました。（4年生）